

プログラミングの基礎を学ぶ

小原小学校プログラミング教室

2月2日、小原小学校でプログラミング教室が行われ全校児童17人が参加しました。

この教室は、仙南視聴覚教材センターの出前講座として行われているもので、仙南地域の小学校で初めて実施されました。ロボット型のプログラミング教材とタブレット端末を使い、講師からの説明を聞いた後に、児童たちがグループに分かれて話し合いながらロボットが動くプログラミングを作りました。最初は思い通りに動かず、前に動かすだけでも苦戦していた児童も、慣れてくると複雑な動きのプログラミングも入力できるようになりました。

参加した児童は、「プログラミングを基礎から教えてもらえてよかったです。ロボットに複雑な動きをプログラミングするには、算数の授業で学んだ図形の内角の計算式も必要で難しかったけど、友達と一緒に考えて面白かったです」と話してくれました。



1



2

1_講師からプログラミングのしかたを学ぶ様子 2_出された課題をグループで話し合いながら考えました

安全安心な地域を目指して

きらり齋川笑アップ塾

2月13日、齋川公民館で「きらり齋川笑アップ塾」が開催され、21人の地区住民が参加しました。この講座では、安全安心な地域づくりに向けて話し合いを行っています。平成30年度には中学生以上全住民アンケートを実施。地区内で取り組むべき課題の上位には「買い物や通院のための高齢者の移手段」がありました。

この課題解決に向けて継続して話し合いを行い、本年1月に旧齋川小学校跡地を利用している社会福祉法人陽光園「あけぼの園」の行う地域貢献事業の協力をもらって、高齢者の自宅付近から会場までの送迎を行う移送支援実験を実施しました。

この日は実施した移送支援実験をテーマに、当日参加したスタッフやボランティアから実施して分かった事や課題について話題提供を受け、次のステップに向けてグループに分かれて話し合い、参加者で共有しました。



1



2

1_移送支援実験当日の様子 2_きらり齋川笑アップ塾では多くの意見が出されました

災害時にも温かい料理を

ポリ袋クッキング体験

2月5日、健康センターでヘルスメイト白石主催によるポリ袋クッキング体験が行われました。これは食材と調味料などを入れたポリ袋を熱湯に入れて調理を行うもので、鍋などを汚すことなく短時間で調理できることから、災害時に役立つ調理方法です。

参加者は「災害時はパンや保存食など冷めた料理が多くなるので、簡単に温かい食事がとれる調理方法を学ぶ事ができてよかったです」と話していました。



▲手際よく調理をするヘルスメイト白石の皆さん

白石の新しい特産品に

白石産ササニシキを使った日本酒を発売

2月1日、白石産ササニシキを原料に使った日本酒「SASA秋天」の販売が、おもしろい市場で始まりました。市内の蔵王酒造株式会社が生産を担い、白石でしか味わえない「オール白石産」がコンセプト。商品名は、実りの秋に輝く稲穂と青空をイメージしたもので、公募により名付けられました。白石産ササニシキ復活プロジェクトの村上賛代表は「お米の用途が増えて励みになります。ぜひ継続してほしいです」と新しい取り組みに期待を寄せていました。



▲販売会に駆け付けた白石産ササニシキ復活プロジェクトと蔵王酒造株式会社の皆さん、おもしろい市場スタッフ

歩いて感じる白石の風情

まち歩きガイドが白石を案内

1月30日、「白石観光まち歩きガイド」と観光名所を巡るモニターツアーが行われ、旅行関係者など10人が白石の街並みを歩きました。白石まちづくり株式会社が主催するこのツアーは、同社が養成する観光ガイドと一緒に、市内の観光施設や名所を歩いて巡り楽しんでもらおうと企画。参加者は天和3年(1683年)の古地図を手に観光施設やお寺などを巡り、ガイドの説明を聞きながら、白石の歴史や昔と今の街並みの違いを楽しんでいました。



▲ガイドの説明で、白石のことを深く知ることができます